

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

産業の振興を推し進めるための、国、県との連携強化! 千葉 良秋 (創政会)



録画配信の
2次元コード

◆「地域未来投資促進法」による基盤整備

①近隣市では航空機エンジンを製造する企業の進出が予定され、当市内には大手自動車製造会社の工場があることから、ロボットやAIの活用など先端技術産業の立地が期待される。規制の緩和や税制の優遇などの特例措置による地域経済の振興につながると考えるが、見解は。



近未来テクノロジー

②企業にとって本社機能の移転などの際に、災害に強い地域は大きな魅力になると考えられる。当市も災害の少ない地域というイメージを広くPRしてはどうか。

環境経済部長 ①地域未来投資促進法の趣旨にのっとり、高度なものづくり技術を持つ企業の集積と、すぐれた交通アクセスという地域特性を活かして、先端・次世代産業など、地域経済を牽引するような産業の集積を図り、地域の稼働力の強化が図られるよう、県と連携して取り組んでいきたい。

②企業は事業中断に伴う影響を最小限に抑えることが重要であり、バックアップ機能を備えておく必要がある。本市が災害に強い地域であることをPRし、企業誘致などを推進することは意義あることと考えられるので、今後、企業誘致に関する取り組みを行う際には、こうした要素も取り入れていきたい。

その他のテーマ ▶ 土地利用転換による新たな産業拠点の創出 ▶ 旧東中学校跡地の利活用の推進

国連のSDGsの目標を取り入れた世界基準のまちづくり 矢馳 一郎 (創造)



録画配信の
2次元コード

◆「誰ひとり取り残さない」社会の実現

国連のSDGs(持続可能な開発目標)は貧困撲滅や男女平等など、17の目標を掲げて世界193か国で合意され、今後世界の基準となる。当市の施策や計画にも取り入れるべきでは。

総合政策部長 地方創生を図るうえで、有効な指標になるものと認識している。今後、各種計画の策定などの際は、SDGsの推進に配慮し、



目標1 貧困をなくそう
所や形態のあらゆる貧困を終わらせる

内容を検討する。

◆広域水害から財産を守る

家屋の浸水被害が広域な場合、行政のみならず、市民による家屋消毒が必要になる。写真を用いた分かりやすいマニュアルの配布が必要では。

環境経済部長 国や保健所などの例を参考に、公式ホームページでも、より分かりやすく周知啓発できるよう検討したい。

◆「記録的短時間大雨」に備える

水害での建物の全壊や半壊を想定すると、公的支援だけでは生活再建に不十分である。市民の水害保険の加入促進に向けた考えは。

危機管理監 防災講座や風水害を想定した防災訓練などの機会を捉えて、自助の備えのひとつとして、内閣府作成の資料を活用するなど、市民に周知を図っていきたい。

その他のテーマ ▶ 家庭での防災備蓄の推進 ▶ 防災運動会の実施 ▶ 災害時のボランティア団体との連携

市内小・中学校『学力向上の取り組み』の進捗は 笹本 英輔 (創政会)



録画配信の
2次元コード

◆全国学力テストの結果を振り返って

①平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果をどのように捉えているか。

②学力向上を目的としてさまざまなことを行っていくにあたり、現状として課題は。

③小学生の時期から学習する機会をさらに提供していかなければいけないと強く感じている。



児童生徒の頑張りを結果に結びつけたい!

さやまっ子茶レンジスクールについても、小学校版の設置を早期に進めていくべきだと考えているが、見解は。

学校教育部長 ①30年度の中学3年生の調査結果と、3年前の小学6年生だったときの調査結果を比較すると、国語、数学ともに国や県との差がより小さくなっていて、学力は向上傾向にあると捉えている。

②まずは、教師の授業力の一層の向上を図ることが重要であり、指導技術や子どもの実態を把握する技能などをベテランから若手にいかに継承していくかが課題となっている。子どもの家庭での学習習慣の定着や、スマートフォンやゲームの利用時間の制限による生活習慣の改善も課題と捉えている。

③31年度からの実施について、小学校の校長会と合意が図られており、現在、内容、場所、形態などについて、各校の実態に応じた検討を行っている。

入曽駅周辺整備事業の説明会を実施し、意見の吸い上げを 町田 昌弘 (創造)



録画配信の
2次元コード

◆重要な局面では多くの方に計画を示し、十分な議論をすべき

①アクセス道路について、入曽地区南側にある若葉台自治会や第9区自治会などの送迎車や駅前渋滞に対する対応は。

②今後はどのような手続きが発生するのか。

③入間小学校跡地の利用計画について、どのようなスケジュールで進めていくのか。

都市建設部長 ①入曽駅東口駅前ロータリーを利用しやすくするアクセス道路を新たに整備することにより、県道入曽停車場線への車両の流入と渋滞の発生は現状より軽減されると考えている。

②地権者と協議を進めるとともに、事業の実施
その他のテーマ ▶ 入曽地区防災計画 ▶ 防災井戸

に必要な調査や基本設計を行い、事業計画を作成する。その後、地権者の同意を得た上で都市計画決定手続きは経ずに、土地区画整理事業の事業認可を受ける。事業認可後、換地設計を行い、仮換地指定を行った後、建築物の移転、除却を行い、引き続き駅前広場や道路などの工事を実施する。

③本年度中に複合型商業施設誘致に係る募集要項を作成し、土地区画整理事業による入曽駅周辺整備の事業認可を受けた後に事業者の公募手続きに入る予定である。



賑わいの創出が期待される小学校跡地

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページでのご覧いただけません。ホームページをご覧にならない方には、FAXか郵送でお届けします。議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313